



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

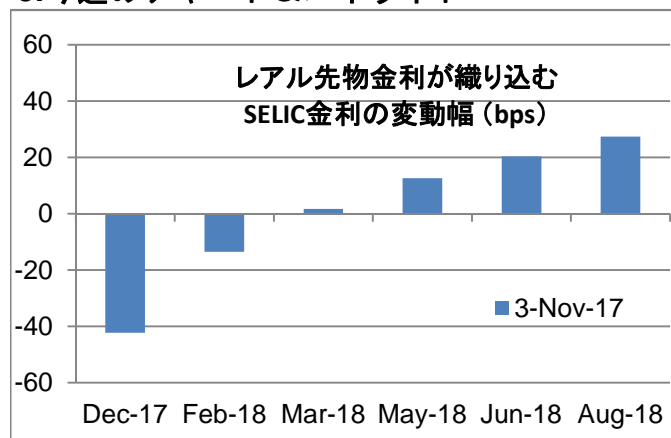
			10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2810	3.2710	3.2660	休場	3.3140	+0.0480
	BRL/JPY	Spot	34.49	34.75	34.95	休場	34.44	-0.51
	EUR/USD	Spot	1.1657	1.1650	1.1616	1.1659	1.1607	-0.0052
	USD/JPY	Spot	113.13	113.70	114.16	114.08	114.12	+0.04
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.024	7.002	6.980	休場	6.987	0.007
	Future	1Year(p.a.)	7.209	7.162	7.176	休場	7.167	-0.009
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.281	2.258	2.199	休場	2.293	+0.094
	USD	1Year(p.a.)	2.498	2.487	2.463	休場	2.491	+0.028
株式	Bovespa指数		74,800.31	74,308.50	73,823.75	休場	73,915.44	+91.69
CDS	CDS Brazil 5y		172.96	171.81	171.27	170.05	173.21	+3.16
商品	CRB指数		187.530	187.558	187.942	188.126	189.380	+1.254

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは6月下旬以来となる3.3340まで下落。
- 週初のレアルは3.2400で寄り付いた。伯政府による年金改革が難航するとの見方が市場で強まる中、レアルは3.28台へと下落。週半ばは3.26から3.29のレンジで方向感を欠く値動きが続いた。伯市場が祝日による休場だった2日には米FRB議長の後任にパウエル氏が指名されたが市場の反応は限定的。週末にかけては米ISM非製造業景況指数が2005年以来の高水準に上昇したことでドルが買われる中、レアルは週間安値となる3.3340まで急落し、結局3.3140で越週した。なお、31日に先週開催されたCOPOMの議事録が公表されたが、内容は予想の範囲内と受け取られ市場の反応は限られた。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.73%、2018年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.06%から3.08%へ上方修正されたが、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.16から3.19へレアル安方向に修正され、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 1日に発表された9月の伯鉱工業生産は前月比+0.2%と予想の+0.6%を下回ったもののプラス成長を確保。前年比では+2.6%となり、緩やかな回復傾向を維持した。
- 米FOMCは1日、予想通り政策金利を1-1.25%で据え置くことを決定した。声明文では景気判断を引き上げ、緩やかな利上げを続ける方針を示唆。市場は12月に0.25%の追加利上げが実施されると予想している。
- 3日に発表された10月の米雇用統計は非農業部門雇用者数が26.1万人増と市場予想の31.3万人を下回った。一方、8-9月分は合わせて9万人の上方修正が行われた他、失業率は4.1%に低下。底堅い労働市場を示す内容となった。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所：Bloomberg

### COPOM議事録は 次回会合での利下げ幅縮小を改めて示唆

31日、先週24-25日に開催されたCOPOMの議事録が公表され、現時点では次回会合で金融緩和ペースを緩めることが適切とする伯中銀の姿勢が改めて確認された。一方、金融政策はリスク要因に対して柔軟に対応していくことを示唆。国内の経済改革を巡る不透明感が強まる中、状況の変化に応じた政策運営を可能にするため、フォワードガイダンスの提示を延期したことが示された。金利先物市場は次回12月6日の会合について約0.42%の追加利下げを織り込んでいるが、2018年以降については市場の見方が分かれている。



## 4.来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.25－3.35

来週のレアルは揉み合う動きを予想する。国内では年金改革の審議開始を巡る議会の動向に注目が集まるが、審議進展への期待感が大きく高まる展開は想定しづらく、レアルは引き続き軟調な動きが見込まれる。一方、米税制改革実現を巡る不透明感からドルの上値も重くなるものと見られ、ドルレアルは方向感の出づらいつ展開を予想する。

来週は10日に10月の伯インフレ率(IPCA)が発表予定。インフレ率の低下は伯中銀による金融緩和をサポートしてきたが、前月9月のインフレ率は前年比+2.54%と8月の+2.46%から伸び率が上昇した。10月については+2.75%が市場で予想されており、2か月連続で伸び率が上昇すると見られている。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	非農業部門雇用者数変化	313k	261k	-33k
米	失業率	4.2%	4.1%	4.2%
米	平均時給(前月比)	0.2%	0.0%	0.5%
米	労働参加率	63.1%	62.7%	63.1%
米	貿易収支	-\$43.2b	-\$43.5b	-\$42.4b
米	ISM非製造業景況指数(総合)	58.5	60.1	59.8
米	製造業受注指数	1.2%	1.4%	1.2%
米	耐久財受注(前月比)	2.0%	2.0%	2.2%

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	11/6	FIPE消費者物価指数(月次)	Oct	--	0.02%
ブラジル	11/6	マーケット・ブラジルPMIコンポジット	Oct	--	51.1
ブラジル	11/6	マーケット・ブラジルPMIサードセクター	Oct	--	50.7
ブラジル	11/6	自動車生産台数(伯自工会)	Oct	--	236944
ブラジル	11/6	自動車販売台数(伯自工会)	Oct	--	199211
ブラジル	11/6	自動車輸出(伯自工会)	Oct	--	60049
米	11/7	消費者信用残高	Sep	\$17.500b	\$13.065b
ブラジル	11/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Oct	0.12%	0.62%
ブラジル	11/8	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Oct	-1.00%	-1.04%
米	11/9	卸売売上高(前月比)	Sep	--	1.7%
ブラジル	11/10	IGP-M Inflation 1st Preview	Nov	--	0.32%
ブラジル	11/10	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Oct	0.47%	0.16%
ブラジル	11/10	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Oct	2.75%	2.54%
米	11/10	ミシガン大学消費者マインド	Nov	100.6	100.7
米	11/10	月次財政収支	Oct	-\$40.0b	\$8.0b

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。